

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」石川県庁前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童の特性に配慮した配置や個室の利用をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置基準に則った配置数になっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段手すりがあるが、小さいお子様には階段の段差が高い。事業所内は段差がなく怪我のリスクを抑えている
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的なミーティングで児童の情報共有を行い、支援の振り返りや見直しをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを行い、意見等を職員に周知し、事業所運営及び環境の改善を行っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年 1 回ホームページで掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の評価は現在行われていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			連携機関である発達支援研究所が主催している定例研修に参加し資質向上を行っている。また、県や市主催の研修にも参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学時にお子様の特性や状態についてアセスメントをとり、それと相談員からの意見を基に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			会社で指定されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員で立案することもあるが、定期的なミーティングを開き全職員で計画の見立てを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子様の状態や特性によって柔軟にプログラムを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	1 日 1 時間の療育のため、プログラムを大きく変更することは無いが、お子様の状態に合わせて変更することもある。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育の他に、小集団イベントにも注力して、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々職員間で、支援配置や活動プログラムについて情報共有を行い、支援に臨んでいる。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後に担当指導員から報告を受けたり、終礼時に連絡事項として情報共有を行い、全職員がお子様の情報を把握している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々支援の記録を取り、支援の検証や改善に取り組んでいる。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			保護者様とお子様のニーズに合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が会議への出席をしているが、場合によっては、担当指導員がその場に参加することもある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者様からのご要望がある際は、必要に応じて行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者からの要望やお子様の特性等を鑑みて必要に応じて、行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	相談員を介して支援内容等を他障害福祉サービス事業所に共有しているが、そういったお子様は現在のところほとんどいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要な情報の共有や助言を受けて連携を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	小集団イベントにて他利用兄弟（姉妹）児と関わる機会はあるが、児童館等の他機関と交流する機会は持っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加自体はないが、機会があれば参加したい。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後にしっかりと情報共有の時間を確保していることで、保護者様もお子様の課題について相談することが出来ている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ご家族の相談に乗ることはあるものの、ペアレントトレーニングという支援までは行っていない。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適宜、相談に応じており、必要に応じて助言を行う事もある。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			回数は少ないものの、ママカフェを開き保護者様同士で日々の悩みや今後の進路などについて交流の場を提供している。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等があれば迅速に対応している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログに小集団イベントの様子を掲載したり、防災訓練や毎月のお知らせを提供している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書庫に個人情報を保管しており、外部に情報を提供するは、同意書を頂いている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的ツール等、お子様や保護者様、一人ひとりに合わせて対応している。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域参加型のイベントは行ってはいないが、イベントチラシや校舎のパンフレット等を店舗や園・学校に配置してもらい、定期的に挨拶にも伺っている。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルがあり、職員に周知をしている。また、感染症等に関する掲示も行っている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害に備えた訓練を定期的に行っている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回以上の研修を行っている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時の資料に身体拘束について明記すると同時に、支援計画にも記載している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	支援中に食事をとる機会はないが、アレルギーに関する内容は見学時のアセスメントでお聞きしている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット等を作成し、職員周知を行い、再発防止を行っている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 石川県庁前校 保護者等数（児童数）：42 回収数：23 割合：54%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5		ボール遊びの際、他の保護者の方に当たらないか心配になります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	9	5	足に障害がある児童がいたら通いにくいかなとは思いますが。 駐車場スペースが狭いと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	23			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	19	4		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	10	12	当てはまらないと思う。 本人は「きらり」で望んではいないので良い。 個別支援を目的としている。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23			活動の最後に内容に関して細かい先生からの気付き、成長した所を聞いて良い。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1		いろいろ話をいつも聞いてくれて助かっています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	10	1	ママカフェは非常に良いと思う。年長保護者は色々知りたいと思う。 ママカフェで交流はあったが、普段通っていて他の保護者とあまり話すことはない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	10		対応しようとする姿勢が見れて良かった。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	9		H Pは見えていないので、分からない。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	3		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	3	1	年に1回でもいいので、簡単な書類で伝えたいのではないかな。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	1	いろいろな形での訓練をしていて、例えば、何をすると？と聞いた子どもにもしっかり教えてもらえて、子どもにとっても勉強になった。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	20	3		行くのを楽しみにしている日があったり、行きたくないと言う日もあります。 勉強するのも「わかりやすい」と言い、運動も楽しくて仕方ないようでありがたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23			子どもに対する接し方が本当に丁寧で分かりやすいと思います。それが子ども達にも伝わっていて安心して楽しく通えているんだと思います。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。